

## 令和7年度 第11回中郷区地域協議会次第

日 時:令和8年2月24日(火) 18時～

場 所:中郷コミュニティプラザ ホール

### 1 開 会

### 2 報 告

- ・片貝縄文資料館施設管理職員の常駐時間の変更について(資料事前配付済)
- ・オープス中郷の廃止について(資料事前配付済)
- ・令和8年度 地域独自の予算事業(中郷区)について(当日資料配布)
- ・尾崎地域おこし協力隊員の退任について
- ・新潟大学創生学部学生「さとまる電鉄」の活動報告について

### 3 協 議

- (1) 自主的審議事項「い～住プロジェクト」について  
(資料 No. 1～3 事前配布済)
- (2) 令和7年度活動報告会について(資料 No. 4～5 事前配布済)
- (3) 自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について  
(資料 No. 6～7 事前配布済)

### 4 その他

- ・地域協議会だよりの発行について

### 5 閉 会

## ■ 変更の目的と背景

- ・片貝縄文資料館の来館・利用時間の状況を踏まえた時間変更を行います。

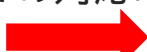
## ■ 変更内容

- ・職員の常駐時間を現在の9時から17時までのところを10時から16時までに変更します。
- ・職員が常駐していない時間(9時から10時までと16時から17時まで)の常設展示室の見学や学習室の利用については、事前予約とし、総合事務所等に対応します。なお、貸館施設(会議室・多目的室・調理実習室)は、これまでの時間外対応と同様の鍵管理等に対応します。
- ・試行期間とし、条例・規則の変更は行いません。

## ■ 運用開始予定日

- ・令和8年4月1日

## ■ 貸館施設の利用に関する影響など

- ・職員の常駐時間が変更となるため、鍵管理での対応時間が増加します。  
 ※鍵管理での対応時間 17時～22時  9時～10時、16時～22時

## ■ 説明・報告スケジュール

- ・2月 6日(金) 南部地区まちづくり協議会への説明・報告
- ・2月24日(火) 中郷区地域協議会への説明・報告

## ■ 参考:

令和7年4月～9月  
時間別入館者数

月	9時台		10時台		11時台		12時台		13時台		14時台		15時台		16時台		計	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
4月	4		9	29	12		7	33	3		12		3		6		56	62
5月	11		41		6	100	11		4		6	27	8		10		97	127
6月	14	44	1	30	5		12		1		8		6		11		58	74
7月	1	17	2		4		12		1		1		4		5		30	17
8月	9		9		3		6		9		3		9	23	6		54	23
9月	6		3		5		7		3		5		6	27	5		40	27
計	45	61	65	59	35	100	55	33	21	0	35	27	36	50	43	0	335	330

※ 団体の利用は事前連絡あり

令和8年1月30日

TCK 特別区競馬組合

お客様へ

## オープス中郷における勝馬投票券 の発売・払戻しの終了について

東京シティ競馬(TCK)では、専用場外発売所であるオープス中郷について、令和8年12月31日(木)をもって勝馬投票券の発売を、令和9年3月1日(月)をもって勝馬投票券の払戻しを終了することになりましたので、お知らせいたします。

長年にわたり、オープス中郷をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございました。

○勝馬投票券発売終了日 令和8年12月31日

○勝馬投票券払戻終了日 令和9年3月1日

令和8年度地域独自の予算事業 地域自治区別事業一覧表

※実施主体と提案団体が異なる場合は、「実施主体」欄に括弧書きで提案団体名を記載している。  
 ※「自己負担額」欄には、補助事業における実施団体の自己負担額を記載しており、市の直営事業の場合、「－」を記載している。

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	予算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	歳出科目		
						目名称	事業名	担当課
中郷区								
1	子どものい～場所開設事業	市(提案団体：中郷区地域協議会)	1,026	1,026	－	児童福祉総務費	子育て支援事業	こども家庭センター
2	「こ食」解消で健康な身体づくり事業	一般社団法人中郷区さとまる学校	1,466	1,025	441	予防費	保健指導事業	健康づくり推進課
3	小さな地域で始める共生のまちづくり事業	一般社団法人中郷区さとまる学校	1,565	1,404	161	企画費	ユニバーサルデザイン推進事業	多文化共生課
4	中郷区空き家相談窓口設置事業	市(提案団体：一般社団法人中郷区さとまる学校)	218	218	－	住宅管理費	空き家等管理促進事業	建築住宅課
5	中郷区高齢者いきいき支援事業	中郷区老人クラブ連合会	1,285	863	422	老人福祉費	生きがいと健康づくり推進事業	高齢者支援課
6	第8回二本木駅鉄道まつり	特定非営利活動法人中郷区まちづくり振興会	2,610	2,349	261	地域振興費	地域振興事業	地域政策課
7	未来へのバトン！地域の先輩に学ぶ事業	特定非営利活動法人中郷区まちづくり振興会	593	415	178	地域振興費	地域振興事業	地域政策課
8	「縄文の郷 中郷」具現化事業	縄文学校、市(提案団体：縄文学校)	498	447	51	文化財保存調査費	歴史文化推進費	文化行政課
計 8件			9,261	7,747	1,514			

重点取組 3本柱	短期的 (来年度)	中期的 (2～3年)	長期的 (5年)
<p><b>柱①</b></p> <p>若年層の居場所づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所ヒアリング</li> <li>・町内会(子ども会)との連携</li> <li>・旧岡沢小・旧片貝小の状況確認、利活用</li> <li>・さとまる一むの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ設置(テナント募集)</li> <li>・遊具設置</li> <li>・冬の遊び場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こ食事業」「い～場所事業」の常設化(回数を増やす)</li> <li>・居場所の拠点化</li> </ul>
<p><b>柱②</b></p> <p>移住受け入れ窓口</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター採用の予算要求</li> <li>・情報発信ツールの構築</li> <li>・移住者の声聞き取り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信ツールの運用開始</li> <li>・移住者による情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信者の確保</li> </ul>
<p><b>柱③</b></p> <p>働く場所の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農事法人などへの聞き取り</li> <li>・法人情報の収集</li> <li>・山菜採り体験(山菜販売へ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント的な職場体験、農業体験</li> <li>・企業PR動画作成</li> <li>・新規採用1名を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規人材による魅力発信</li> <li>・継続できる「しごと」創設</li> </ul>

# チーム名：ベテランチーム

資料No.1-2  
中郷区地域協議会  
R8.2.24

重点取組 3本柱	短期的 (来年度)	中期的 (2～3年)	長期的 (5年)
<b>柱①</b>  子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てママ広場の開設(はーとぴあ中郷・片貝縄文資料館の活用)</li> <li>・子どもを対象にしたイベントの開催(い～場所、子ども食堂、親世代を巻き込んだ内容)</li> <li>・子育て世代との意見交換</li> <li>・婚活パーティーの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て環境の充実(コミュニティの発展、次世代の人材確保)</li> <li>・い～場所の拡充(小中学校、まちづくり振興会、さとまるスポーツクラブが連携)</li> <li>・中郷商店街で男女の出会いのイベントを開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校をつくる(地域の学校は地域でつくる、地域協議会・行政・子育て世代が一体となって取組む)</li> <li>・若者世代の活躍の場をつくる</li> <li>・企業、大学、専門学校を誘致</li> </ul>
<b>柱②</b>  住むところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住む場所の紹介窓口を開設(町内会、さとまる学校と連携)</li> <li>・空き家の利活用、リフォーム事業の活用</li> <li>・中郷区在住者と転出者へのアンケート調査</li> <li>・Uターン、移住者との意見交換</li> <li>・HPやインスタ、中郷ポータルサイトの開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフォーム相談窓口の開設</li> <li>・移住を目的としたイベントの開催(農業体験、農事組合法人・さとまる学校・まちづくり振興会・観光協会と連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい住環境の研究と提案(集合住宅)</li> <li>・ネット環境の整備(都会でなくても仕事ができる方を誘致)</li> <li>・除雪作業の助成(機械の貸出し、流雪溝の確保)</li> </ul>
<b>柱③</b>  観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信に向けた企画の立案、PR動画の作成(ヤングチームが主体となる、自然の豊かさ、観光施設、(さとまる一む、農事組合法人、二本木駅、JAと連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信の開始</li> <li>・ひばり荘の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信後の効果の検証、改善</li> <li>・映えスポットなどのPRポイントを充実させる</li> <li>・冬の夕日ヶ丘を観光資源に(観光協会と連携)</li> </ul>

重点取組 3本柱	短期的 (来年度)	中期的 (2～3年)	長期的 (5年)
<p><b>柱①</b></p> <p>移住・定住 (不動産情報の 発信)</p> <p>さとまる学校・町内会 総合事務所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会からの空き家・空き地の情報収集</li> <li>・実施団体の設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家(宅建協会等)との連携</li> <li>・SNS、HPでの情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施団体による窓口対応の実施</li> </ul>
<p><b>柱②</b></p> <p>生きがい (趣味・スポー ツ)</p> <p>さとまるスポーツクラブ 各種団体・サークル 各施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きっかけづくり</li> <li>例①: 毎月〇日を趣味やスポーツに取組む日に</li> <li>例②: 健康づくりポイント事業の活用</li> <li>例③: 高齢者向け送迎付きの事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の充実</li> <li>・さとまるポイント(仮称)計画(個人での成果、グループで参加)</li> <li>・送迎手段の確保</li> <li>・団体間の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活気ある形での中郷体育祭の復活</li> <li>・最終的に、住民の〇%が趣味やスポーツに取り組んでいる状態</li> </ul>
<p><b>柱③</b></p> <p>食 (交流人口増)</p> <p>観光協会・飲食店 猟友会・JA 農業関係者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民アンケートの実施(春夏秋冬それぞれのイメージの食材を聞く、まちづくりアンケートとして「食」以外の内容を含める)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レシピの考案、開発</li> <li>・協力店や協力団体のピックアップ</li> <li>・コンクールの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中郷の郷土料理(特産品)の作成</li> <li>・商品化、店での販売や周知</li> </ul>

## い～住プロジェクト

### ～持続可能な中郷区の創り方(案)～

### 中郷区地域協議会

重点取組 3本柱	短期的 (来年度)	中期的 (2～3年)	長期的 (5年)
<p><b>柱①</b> 子どもが育ち、“大好き”が続く地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「い～場所」「こ食解消事業」の継続</li> <li>・若者ヒアリング(何に困ってる?どんな場が欲しい?)</li> <li>・旧岡沢小、旧片貝小・はーとぴあ中郷、総合体育館の活用検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て×学校×地域連携で「い～場所」「こ食解消事業」の拡充</li> <li>・若者の居場所の整備(Wi Fi、カフェ風、冬の遊び場)</li> <li>・マッチング(出会い)イベント</li> <li>・若者や親子向けの“きっかけイベント”始動(ゲーム×軽食等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者・子育て拠点の常設化</li> <li>・「い～場所」「こ食解消事業」の拠点化(子どもの居場所・多世代交流)</li> <li>・中郷区における小中学校の理想的な姿構築</li> <li>・夕日ヶ丘の資源化、魅力発信</li> </ul>
<p><b>柱②</b> 帰ってこれる地域づくり ～一人ひとりに役割(出番)がある中郷～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家・空き地の情報収集</li> <li>・区内、近隣地域求人情報の集約</li> <li>・移住者(U/Iターン者)ヒアリング</li> <li>・情報発信ツール(HP・SNS・LINE)の統合と仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住チャレンジイベント(農業体験・職場体験など)</li> <li>・リフォーム相談窓口開設/専門家との連携</li> <li>・企業PR動画/仕事の紹介</li> <li>・情報発信ツールの運用開始(発信者の確保)</li> <li>・移住者による情報発信(当事者ストーリー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住・定住のワンストップ窓口(コーディネーター配置)</li> <li>・新しい住環境モデル(集合住宅)</li> <li>・ネット環境整備(テレワーク)</li> <li>・除雪助成の制度化</li> <li>・継続できる「しごと」創設(季節雇用→通年雇用)</li> <li>・新規人材が企業の魅力発信を担うモデルへ</li> </ul>
<p><b>柱③</b> 集い、楽しみ、誇れる地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食のアンケート(季節×食材)</li> <li>・情報発信ツール(HP・SNS・LINE)の統合と仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レシピ開発、提供協力店依頼</li> <li>・食材コンクール等のイベント</li> <li>・送迎付きの軽スポーツ体験、文化活動体験</li> <li>・松ヶ峯温泉の活用検討</li> <li>・フォトフレームや映えスポット発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理の確立・商品化</li> <li>・新企画での“中郷体育祭”復活</li> <li>・(仮)さとまるポイント本格運用(観光・食・ボランティア)</li> <li>・松ヶ峯温泉の活用</li> <li>・PR動画の作成、観光情報発信</li> </ul>

# 第1回 ママ会

資料No.3  
中郷区地域協議会  
R8.2.24

- ・日 時：令和8年2月6日（金）午後5時～6時15分
- ・場 所：竹内会長宅（キャビン）
- ・出席者：桐山委員、尾崎委員、村越委員（地域協議会委員3名）  
桐山班長、更山（事務局2名）  
ママ4名
- ・内 容：U・Iターンで中郷区に来た子育て世代のママさんと地域協議会委員の  
顔合わせと意見交換

●い～住プロジェクトについて説明（桐山委員、桐山班長）

●ママさんとの意見交換

Aさん	<ul style="list-style-type: none"><li>・旦那さんの転勤がきっかけで、他県都市部からのUターン。</li><li>・子どもたちに「小規模な小学校に通わせたい」、「夕日ヶ丘で遊ばせたい」という思いがあった。</li><li>・子どもたちは「スキーが楽しい」「学校みんなの名前が覚えられる」と喜んでいる。</li><li>・生活の中での不便さは感じていない。</li></ul>
Bさん	<ul style="list-style-type: none"><li>・結婚がきっかけで、夫の職場近くでの居所を探し、さくらハイツに住むことになった（Iターン）。</li><li>・さくらハイツは、旦那さんの職場が比較的近く、家賃が安いことが魅力的だった。</li><li>・子どもが生まれ、中郷保育園への通園をきっかけに、このまま中郷区に住むことを決めた。</li><li>・その後、知り合いの紹介で中郷区内の空き家へ引っ越した。</li><li>・これからの生活では、高齢になった時の「除雪」が心配。</li></ul>
Cさん	<ul style="list-style-type: none"><li>・家族が病気になったことがきっかけで、関西地区からのUターンを検討。</li><li>・実家近くの土地がたまたま空いたため、家を建てることを決めた（実家に頼らず、自立したいという思いがあった）。</li><li>・旦那さんは仕事を継続するため他県に残り、月に2回程度、中郷に帰ってくる（現在、農業に興味があるとのこと）。</li><li>・雪道の運転が未経験のため、怖さを感じている。</li><li>・い～場所がとてもありがたい。子どもたちも楽しく参加している。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもたちが楽しめるイベント（い～場所、夏まつり、雪ん子まつり）があることがとてもありがたい。</li><li>・子ども会が縮小・解散している →地区を超えた子ども会活動（「こ食」の通年開催）があるとよいのでは。</li></ul>

(案)

資料No.4  
中郷区地域協議会  
R8.2.24

## 令和7年度 中郷区地域協議会 活動報告会

日時：令和8年3月7日（土）

午後1時30分～

場所：はーとぴあ中郷 研修室

○ 全体進行 … 鹿島委員

### 1. 開会（3分）

・中郷区地域協議会 … 竹内会長

### 2. 令和7年度の活動報告（10分）

○ 自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について

・コミュニティバス「さくら号」について … 岡田委員

・子どものい〜場所開設事業について … 陸川委員

→事業目的、内容、成果、課題などをそれぞれ5分程度で報告。

○ 自主的審議事項「い〜住プロジェクト」について（35分）

・協議の経過について（10分） … 桐山委員

・3本の柱について（20分） … 村越委員 高橋委員

・総評コメント（5分） … 上越市創研行政研究所

→地域協議会として3チームの提案を1つにまとめて発表する。

### 3. 意見交換（25分）… 尾崎委員 竹内会長

・地域の宝である子どもたちのために「今」できること  
～持続可能なまちづくりに向けて～

→意見交換の前段として、「こ食解消で健康な身体づくり事業」の実績報告及び「全国サミットinまつのやま」への参加報告を兼ねる。

### 4. その他

・令和8年度地域独自の予算事業について（5分）… 事務局

### 5. 閉会（2分）

・中郷区地域協議会 … 陸川副会長

# 活動報告会

5年後の中郷区のことを本気で考えました。

未来を変える取組を一緒に進めませんか。



日時

3月7日(土) 13:30~15:00

会場

はーとぴあ中郷 研修室

内容

● 令和7年度活動報告

- ・「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- ・「い〜住プロジェクト」について

● 意見交換会

地域の宝である子どもたちのために「今」できること  
～持続可能なまちづくりに向けて～

参加申込はこちら

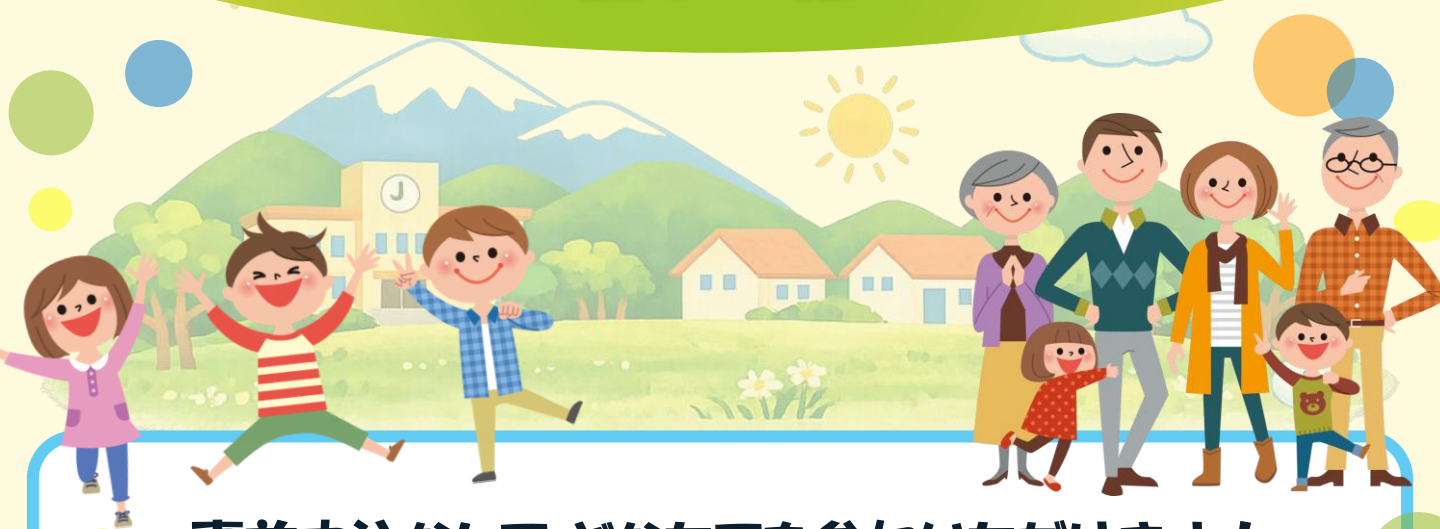


令和7年度 中郷区地域協議会

# 活動報告会

5年後の中郷区のことを本気で考えました。

未来を変える取組を一緒に進めませんか。



事前申込なしで どなたでも参加いただけます！

日時

3月7日(土) 13:30~15:00

会場

はーとぴあ中郷 研修室

内容

● 令和7年度活動報告

- ・「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- ・「い〜住プロジェクト」について

● 意見交換会

地域の宝である子どもたちのために「今」できること  
～持続可能なまちづくりに向けて～

中郷区地域協議会事務局  
(中郷区総合事務所 地域振興班)

TEL:0255-74-2411

# 中郷コミュニティバス「さくら号」運行状況

資料No.6  
中郷区地域協議会  
R8.2.24

R8.1.31現在 回数券購入の実人数51人(前月末+0)※中学生は実人数の集計には含めない11人が購入

回数券 販売		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
	販売数		55	17	6	15	15	9	11	18	28	22
金額		165,000	51,000	18,000	45,000	45,000	27,000	33,000	54,000	84,000	66,000	588,000 円

利用 件数	回数券	105	123	114	153	134	121	135	114	135	71	1,205 件
	現金	10	4	2	6	6	4	4	0	8	0	44 件
	中学生									42	144	186 件
	件数計	115	127	116	159	140	125	139	114	185	215	1,435 件
	料金計	36,500	38,900	35,200	48,900	43,200	38,300	42,500	34,200	44,500	21,300	383,500 円

曜日別 利用 件数		区内		妙高市		区内		妙高市		区内		妙高市		区内		妙高市		区内		妙高市		区内	妙高市	
	月	0	6	2	9	2	11	0	8	0	11	0	2	0	16	0	9	0	10	0	4	4	76 件	
	火	6	43	7	35	16	30	4	51	8	45	8	37	9	21	7	22	9	25	9	14	74	298 件	
	水	0	16	1	8	1	12	0	18	0	14	0	6	0	17	0	15	2	16	0	8	2	114 件	
	木	7	26	5	45	5	31	4	58	9	34	6	58	5	58	5	40	9	60	2	32	48	382 件	
	金	0	11	0	15	2	6	0	16	2	13	0	8	4	9	0	12	0	12	0	2	8	92 件	
	土日									4						4							8	0 件
	中学生																						42	144 件
	計	13	102	15	112	26	90	8	151	23	117	14	111	18	121	16	98	62	123	155	60	288	962 件	
	合計	115		127		116		159		140		125		139		114		185		215		1,250		件

【注意】「土日」は、通常の運行ダイヤにはない区内イベント用の特別運行の利用実績  
「中学生」は遠距離通学支援の対象となる岡沢地区の生徒13人を対象に、R7.12.17から運行を開始

月曜日：南・西地区新井病院便／北地区区内巡回便  
火曜日：中・東・北地区新井病院便／東・南地区区内巡回便  
水曜日：南・西地区新井買い物便／中地区区内巡回便  
木曜日：中・東・北地区新井買い物便／西地区区内巡回便  
金曜日：中・東・南・西地区関山便

東地区(坂本・二本木・松崎・五反田)  
西地区(岡川・岡沢・福田)  
南地区(市屋・片貝・福崎・江口・稲荷山・宮野原・松ヶ峯)  
北地区(板橋・藤沢・三ツ屋)  
中地区(江端・金山・四ツ屋・下中嶋・八斗蒔・さくらハイツ・野林)



## 令和7年度 第5回中郷区子どものい～場所開設事業 実施報告

資料No.7  
中郷区地域協議会  
R8.2.24

- ・開設日：令和8年1月22日（木）
- ・開設時間：午後3時5分～午後5時30分
- ・開設場所：中郷総合体育館
- ・送迎者運転員：3人
- ・見守り者：6人（振興会4人、事務所2人、地域協議会委員2人）
- ・参加者：31人（中学生の参加者なし）

	日付・会場	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
1	9月25日（木） 片貝縄文資料館	6	6	3	0	7	2	24
2	10月27日（月） 中郷コミュニティプラザ	6	7	5	0	6	3	27
3	11月17日（月） 中郷総合体育館	7	6	8	1	8	5	35
4	12月17日（水） 中郷総合体育館	8	7	8	1	9	5	37
5	1月22日（木） 中郷総合体育館	8	5	5	0	10	3	31

### 【参加申込について】

- ・会場から自宅までの送り届けの追加希望が2件あったが、対応できた。

### 【送迎について】

- ・学校から会場までは、リース車両、コミバス「さくら号」2台2往復で対応した。
- ・会場から自宅までの送り希望者は21人おり、リース車両、振興会所有の軽自動車の2台で対応した。第1便は午後5時に、最終便は午後5時25分に出発した。

### 【見守りの状況・子どもたちの様子について】

- ・宿題を終わらせてから遊ぶ児童が多かった。
- ・体育館の中は寒かったが、子どもたちは元気よく遊んでいた。
- ・ボール遊びや鬼ごっこ、卓球をして遊んでいた。
- ・鬼ごっこの鬼を決める時、低学年の児童が泣き出してしまい、見守りの1人が仲裁に入った。
- ・16時30分頃に体調不良になった子ども1人について、保護者に連絡し、はやめに家まで送り届けた。
- ・怪我等はなし。